

本件は警察庁からも発表しています。JAFからは、国土交通省記者会、自動車産業記者会へ資料を配付しております。

本部広報2012-010

2012年6月13日

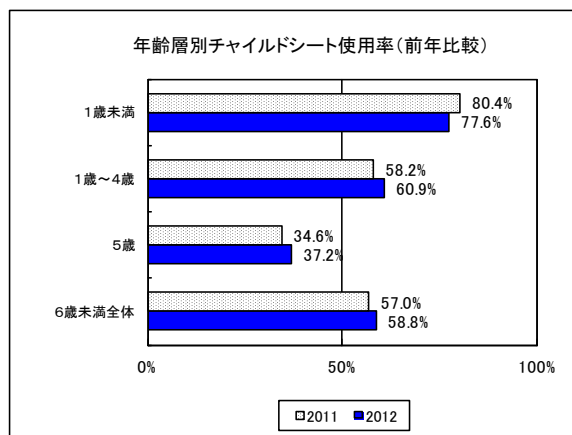
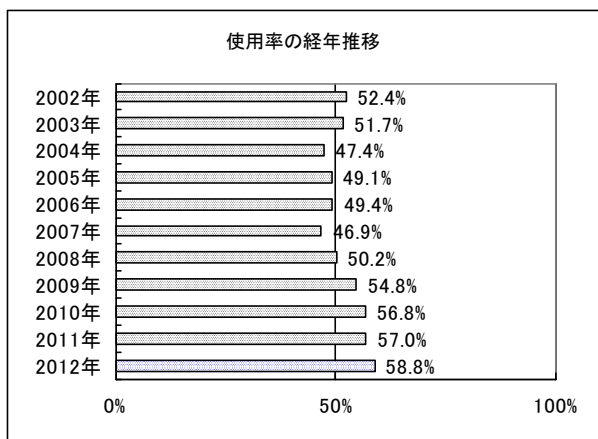
## チャイルドシートの使用率は58.8%

### 子どもの年齢が上がるとともに使用率が低下する傾向は変わらず

JAF（一般社団法人日本自動車連盟、会長田中節夫）と警察庁は、自動車乗車中の6歳未満の子どもを対象に「チャイルドシートの使用状況」と「チャイルドシートの取付け状況」等の合同調査を全国で実施しました。結果（要旨）は、以下の通りです。

#### （1）チャイルドシート使用状況調査

- 調査期間 2012年4月20日（金）～30日（月）
- 調査場所 全国100カ所
- 調査対象 12,941人
- 調査結果



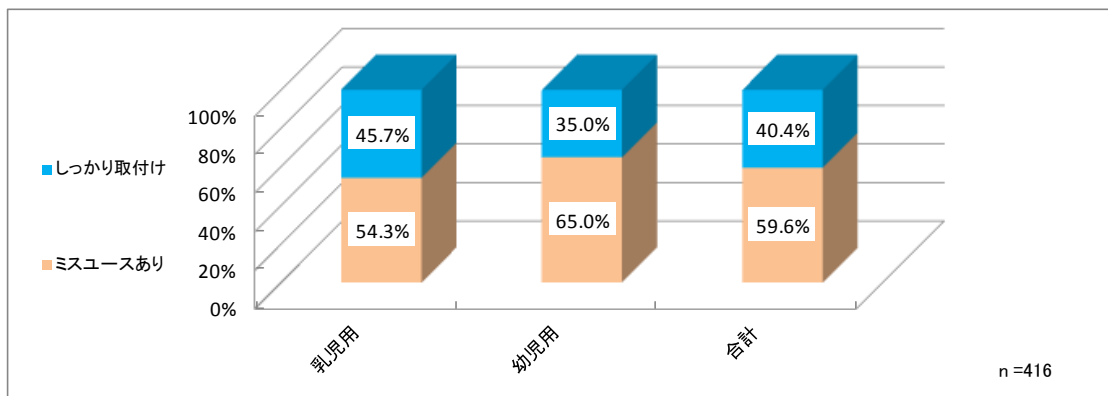
- 6歳未満の子どもの使用率は58.8%（前年比1.8%増）とわずかに向上しましたが、依然として4割以上の未使用が見られました。
- 乳児用シートを使用する割合の高い1歳未満（77.6%）と比べ、学童用シート（ジュニアシート）を使用する割合の高い5歳児（37.2%）の着用率の低さが目立ちました。この年齢が上がるとともに使用率が低くなる傾向は前年と変わっていません。今後も主に5歳児以上が使用する学童用シートの使用啓発が重点的に必要と言えます。

#### （2）チャイルドシート取付け状況調査

- 調査期間 2012年4月20日（金）～30日（月）
- 調査場所 全国8地域（北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・香川・福岡）
- 調査対象 479台
- 調査方法 専用計測器を用いた乳児用及び幼児用チャイルドシートの測定等

（次ページへ続きます）

### ○調査結果

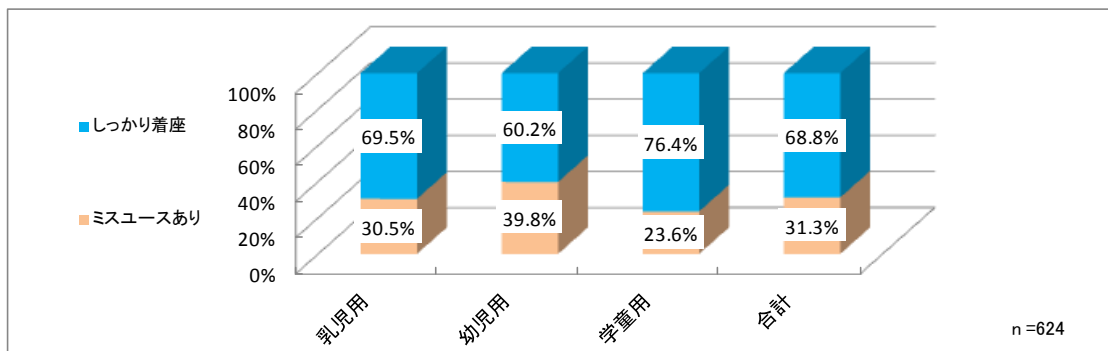


- 取扱説明書通り正しく取付けられていたものは、乳児用シートが45.7%、幼児用シートが35.0%。ミスユースの原因は「シートベルト（腰ベルト）の締付け不足」が最も多く、60%以上を占めています。

### (3) チャイルドシート着座状況調査

○調査期間・場所・対象は取付け状況調査と同様

○調査結果



- 取扱説明書通り正しく着座していた子どもは、全体で68.8%。  
ミスユースで最も多い原因は、乳児用シートが「ハーネス（子ども用シートベルト）の高さ調節」、幼児用シートが「ハーネス（子ども用シートベルト）の締付け不適正」、学童用シートが「肩ベルトの通し方間違い」でした。

JAFでは子どもの車内での安全を守るため、全ての席でのシートベルト着用推進とあわせ、チャイルドシートの正しい使用方法に関する啓発活動を積極的に進めてまいります。

### ■添付資料

#### ◆2012年チャイルドシート使用状況全国調査結果（2頁）

※「2012年チャイルドシート使用状況全国調査」結果（PDF）は、JAFホームページでダウンロードできます。→<http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/data/index.htm>

トップページ > エコ&セーフティ > 全国調査データ

このリリースに関するお問い合わせは、

JAF交通環境部 電話 03-3578-4915 へお願いします。